



CORPORATE BOOK

平成24年3月期 (第3期)



～創造と貢献～ 新しい価値を創造して、社会に貢献する



代表取締役社長

襟川 陽一

代表取締役会長

柿原 康晴

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜わり厚く御礼申し上げます。さて、当社第3期(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)の報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

ゲーム業界を取り巻く環境は、家庭用ゲーム市場においては新型ハードの登場、ソーシャルゲーム市場においては、スマートフォンの急速な普及による競争の激化など、大きな変化を遂げております。

このような状況下、当社では「成長性と収益性の実現」に取り組み、事業拡大とコストダウンを効果的に進めた結果、全四半期において黒字化を達成するとともに、経営統合後、最高の売上と利益を達成いたしました。

次期においては、全事業の増収増益を目指すとともに、各事業とも新しいビジネス展開やコラボレーションに取り組み、引き続き、最高の売上・利益の更新を目指してまいります。

また、グループとして長期にわたり、「更なる成長性と収益性」を実現するために新しい経営理念を策定いたしました。

経営基本方針

- ①最高のコンテンツの創発
- ②成長性と収益性の実現
- ③社員の福祉の向上
- ④新分野への挑戦

ビジョン

世界No.1のエンターテインメント・コンテンツ・プロバイダー

長期戦略

- ①コンテンツ・クリエイション戦略
- ②コンテンツ・エクспанション戦略
- ③グローバル・ロジスティックス戦略

商品コンセプト

クオリティ&サティスファクション

新しい経営理念のもと、「創造と貢献」という精神を通じ、「世界No.1のエンターテインメント・コンテンツ・プロバイダー」を目指し邁進してまいります。

株主の皆様には、引き続き一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年6月

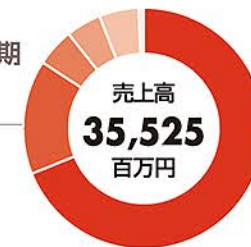
代表取締役会長 柿原 康晴
代表取締役社長 襟川 陽一

平成24年3月期の状況

当連結会計年度における世界経済は、欧州政府債務危機や原油高の影響などにより、全体として弱い回復となっております。わが国経済におきましては、東日本大震災の影響が残るなか緩やかに持ち直していましたが、長引く円高や株安などによって景気の下振れリスクが存在するなど、先行きの不透明感が増しております。

ゲーム業界におきましては、平成23年度の国内家庭用ゲーム市場規模が前年実績を下回りましたが、ハード市場ではニンテンドー3DS(3DS)やPlayStation®Vita(PS Vita)の登場により前年並みの規模を維持いたしました。中でも国内販売台数500万台を突破した3DSは好調に推移しており、今後はソフト市場についても更なる伸びが期待されます。さらに、任天堂株式会社が平成24年中に発売予定の新型ゲーム機「Wii U」についても新たなビジネスチャンスが見込まれます。ソーシャルゲーム市場は依然成長が続いている反面、競争も激化しております。また、フィーチャーフォンからスマートフォンへの切り替えが急速に進むなか、SNS大手各社ではマルチデバイス対応と海外展開

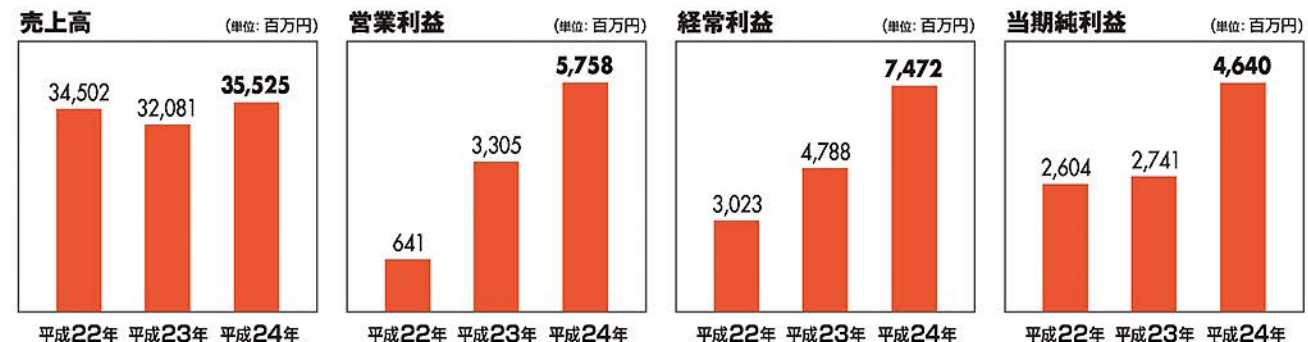
平成24年3月期



を積極化しており、これらの動きに柔軟且つ迅速に対応可能な事業会社が存在感を高めております。

このような経営環境下において、当社では経営方針「成長性と収益性の実現」のもと、各種施策に取り組んでまいりました。ゲームソフト事業では、ナンバリングタイトルの充実を図りつつ、新ハード対応やコラボレーションタイトルの開発を進めてまいりました。オンライン・モバイル事業では、スマートフォンを始め様々なプラットフォームへ、グローバルにコンテンツを展開いたしました。また、コストダウンの取り組みを徹底したことにより、収益力強化も着実に進みました。これらにより、当社グループの当期業績は、売上高355億25百万円(前連結会計年度比10.7%増)、営業利益57億58百万円(同74.2%増)、経常利益74億72百万円(同56.1%増)、当期純利益46億40百万円(同69.3%増)となり、大幅な増収増益を達成いたしました。

●財務ハイライト

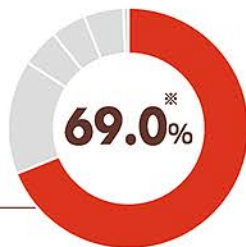




株式会社コーエーテクモゲームス

ゲームソフト事業

売上高 **24,883** 百万円 営業利益 **4,797** 百万円



国内外で出荷累計63万本を達成した「NINJA GAIDEN3」(PS3、Xbox 360用)を始め、国内においても「無双OROCHI2」(PS3、Xbox 360用)、「戦国無双3 Empires」(PS3用)、「Winning Post 7 2012」(PS3、PSP、Win用)といった主力タイトルが順調に推移いたしました。「ワンピース 海賊無双」(PS3用)や「ポケモンノブナガの野望」(DS用)など、当社が開発を担当したタイトルにつきましても、大変好評を博しました。また、PS Vita向けに「真・三國無双 NEXT」、「NINJA GAIDEN Σ PLUS」をリリースするなど、新型ハード対応を積極的に進めてまいりました。さらに、「真・三國無双6」(PS3用)を始めとした旧作のリピート出荷やダウンロードコンテンツ販売も好調が続いております。海外においては、「ガンダム無双3」(PS3、Xbox360用)や「Champion Jockey」(PS3、Xbox 360、Wii用)などを欧米やアジア向けに発売しましたが、中でも「真・三國無双 NEXT」はアジアで人気を集めました。

主力ソフトやコラボレーションタイトルが堅調に推移したことから、大幅な増収増益を達成しております。

平成25年3月期におきましては、ナンバリングタイトルの更なる成長を目指すとともに、新ハードローンチに合わせた商品展開や新規コラボレーションを積極的に推進いたします。また、ダウンロードビジネスの強化や海外売上規模の拡大に向けた取り組みを強化するとともに新規IPタイトルの発売などを通じ、収益力を高めてまいります。

※外部顧客に対する売上高による割合



販売：株式会社バンダイナムコゲームス
制作：株式会社ポケモン/株式会社コーエーテクモゲームス
©2012 Pokémon. ©1995-2012 Nintendo/ Creatures Inc./GAME FREAK Inc.
©2012 コエーテクモゲームス

販売：株式会社バンダイナムコゲームス
開発：株式会社コーエーテクモゲームス
©2012 NBGI



株式会社コーエーテクモゲームス

オンライン・モバイル事業

売上高 **5,635** 百万円 営業利益 **1,034** 百万円



ソーシャルゲーム事業においては、主力タイトルである「100万人の信長の野望」、「100万人の三國志」に加え、新たに配信を開始した「100万人のWinning Post」が人気となり、全体を牽引いたしました。急速に普及の進むスマートフォンへ積極的に対応したほか、「のぶニヤガの野望」を始めとしたPC向けタイトルにつきましても、安定した売上を続けております。さらに、ゲームとソーシャルネットワークサービス(SNS)が融合した新しいタイプのコミュニティサイトとして「my GAMECITY」のサービスを開始いたしました。これらの結果、ソーシャルゲームの国内累計会員数は500万人を突破するなど好調を維持いたしました。また、海外では、英語圏にて「100万人のモンスターファーム」、中国にて「1億人の三國志」の正式サービスをスタートするなど、グローバル市場への展開も進めております。

オンラインゲーム事業においては、「信長の野望 Online」を始め各タイトルとも順調に推移いたしました。また、「真・三國無双 Online ～龍神乱舞～」などのパッケージ販売につきましても堅調に推移し、業績に貢献いたしました。

なお、先行投資として、グローバル市場向け及びスマートフォン向けのソーシャルゲームの開発人員を増強しております。

平成25年3月期におきましては、「my GAMECITY」のサービス拡充による会員数の増加、新規・コラボレーションの推進、スマートフォン向け対応を中心としたセールス&マーケティング強化、海外展開の促進、以上4点を軸に事業を再構築し、新たな成長軌道を確立してまいります。また、オンラインゲーム事業につきましても、継続的な収益力強化を推し進めます。なお、ソーシャルゲームにおけるコンプリートガチャへの規制に関して、当社グループの売上高に対する影響は微小でありませんが、今後については、消費者庁から示されたガイドラインに沿い、真撃に対応してまいります。





株式会社コーエーテクモゲームス

メディア・ライツ事業

売上高 **1,838** 百万円 営業利益 **157** 百万円



イベント事業においては、「ネオロマンス・フェスタ 遙か祭2012」を始め、合計9つのイベントを開催し多くのお客様にお楽しみいただきました。キャラクターグッズ販売も好調で、収益に寄与しております。また、ネオロマンスシリーズ初のソーシャルゲームとなる「100万人の金色のコルダ」のサービスを開始し、フィーチャーフォンやスマートフォン、PCへマルチデバイス対応するなど、当社コンテンツの活用を積極的に図りました。さらに、ゲームソフトにおきましても「FabStyle」(3DS、DS用)を発売するな

ど、新規チャレンジを推進いたしました。

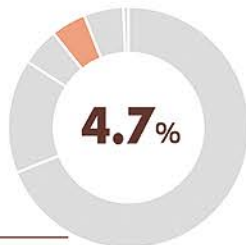
以上の結果、事業の再構築を通じて大幅な増収増益となり、黒字転換を果たしました。平成25年3月期におきましては、「女性向けゲームマーケットNo.1」を目指し、新機軸ビジネスを積極的に拡充してまいります。また、平成24年7月に予定しているゲスト初の公式イベントや新機軸イベントの開催を予定するなど、グループIPの活用につきましても、積極的に推進いたします。



株式会社コーエーテクモウェーブ

スロット・パチンコ事業

売上高 **1,701** 百万円 営業利益 **551** 百万円



パチスロ機「CR 真・三國無双」「CR ぱちんこRio」など合計6タイトルがリリースとなりました。パチンコ・パチスロ機への著作権許諾の実施に加え、液晶ソフト受託開発につきましても堅調に推移しております。また、開発ラインの効率化が進んだことから収益性も高

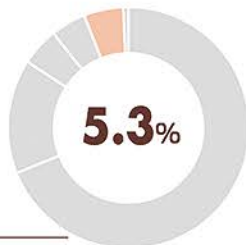
まりました。平成25年3月期におきましては、継続的な開発ラインの強化及び効率化により安定収益を確保する一方、新規IPの創出を通じ成長力を高め、高収益体制を確立してまいります。



株式会社コーエーテクモウェーブ

アミューズメント施設運営事業

売上高 **1,887** 百万円 営業利益 **128** 百万円



販促活動の強化やゲーム機械導入を積極的に進めたことなどにより、既存店売上は底堅い動きとなりました。また、不採算店舗の整理も一巡し収益性の高い事業体質を構築する一方、新規出店の再開や当社IPのアミューズメント展開に向けた取り組みにも着手

しております。平成25年3月期におきましては、既存店舗の運営強化や仕入コストの低減、グループIPの活用推進などにより、売上向上及び収益力強化を図ります。

パートナー各社の商品 (株式会社コーエーテクモネット)

アイディアファクトリー株式会社の女性向け恋愛アドベンチャーゲーム「薄桜鬼(はくおうぎ)」シリーズ、「AMNESIA(アムネシア)」や、株式会社アクワイアのアクションアドベンチャーゲーム「AKIBA'S TRIP(アキバズ トリップ)」、3DダンジョンRPG「剣と魔法と学園モノ。」シリーズ、株式会社アートムーヴの恋愛アドベンチャーゲーム「おもちゃ箱の国のアリス」、株式会社日本一ソフトウェアの漢字シールパズルゲーム「ビックリマン漢熟霸王三位動乱戦創紀」など、パートナー各社のタイトルが好評を博しました。



超ワールドサッカー (CWS Brains株式会社)

CWS Brains株式会社は、サッカーファン向け最新情報を提供する人気サイト「超ワールドサッカー」のスマートフォン展開を開始、早くもその市場において日本最大級のサッカー情報サイトへと進化しています。

また、「超ワールドサッカー」が全面サポートしているソーシャルゲーム、「100万人の超ワールドサッカー」をGREEで好評サービス中です。



株式会社ゲスト

平成23年12月にコーエーテクモグループの一員となった株式会社ゲストは、錬金術RPG「メルルのアトリエ ～アールランドの錬金術士3～」に代表される「アトリエ」シリーズをはじめとした有力IPを保有しており、特にアニメファン向けのロールプレイングゲームの分野に強みがあります。今後は、これら有力IPをゲームソフト事業だけでなく、グループの各事業で展開し、事業機会を拡大いたします。また、7月にはゲスト初の公式イベントの開催を予定しております。

従来のコーエーテクモファンとは異なる新たなユーザー層を開拓し、更なる成長を図ってまいります。



CSR

コーエーテクモグループでは、東日本大震災による被災地の復興の一助として、社会福祉法人中央共同募金会が創設した『赤い羽根(震災ボランティア・NPOサポート募金)』を通じて、昨年より2年間にわたって合計1億円を拠出したいたします。

当社グループは、従来より災害時の義援金・救済金寄付を継続して行っており、その貢献から平成17年紺綬褒章受章、平成18年と平成22年には日本赤十字社、平成23年には中央共同募金会より感謝状を受領いたしました。

また、日本シミュレーション&ゲーミング学会(JASAG)や科学技術融合振興財団(FOST)の助成を通じて、シミュレーションやゲーミングを教育・学術分野に応用する支援も行っています。

今後もエンターテインメント企業として、学術・文化の発展、地域貢献等、社会への貢献に努めてまいります。

● 連結貸借対照表

| 科 目 | 前連結会計年度 | 当連結会計年度 |
|-----------------|---------------|---------------|
| | 平成23年3月31日 | 平成24年3月31日 |
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | 25,293 | 25,836 |
| 現金及び預金 | 10,685 | 6,742 |
| 受取手形及び売掛金 | 7,688 | 11,750 |
| 有価証券 | 2,578 | 3,930 |
| 商品及び製品 | 485 | 213 |
| 仕掛品 | 300 | 316 |
| 原材料及び貯蔵品 | 49 | 98 |
| 繰延税金資産 | 691 | 528 |
| その他 | 2,927 | 2,451 |
| 貸倒引当金 | △114 | △196 |
| 固定資産 | 52,193 | 54,909 |
| 有形固定資産 | 13,092 | 14,387 |
| 無形固定資産 | 3,698 | 4,312 |
| のれん | 2,918 | 3,738 |
| その他 | 780 | 573 |
| 投資その他の資産 | 35,402 | 36,210 |
| 投資有価証券 | 32,550 | 33,752 |
| 更生債権等 | 27 | 23 |
| 繰延税金資産 | 1,746 | 1,435 |
| 敷金及び保証金 | 897 | 797 |
| その他 | 207 | 223 |
| 貸倒引当金 | △27 | △23 |
| 資産合計 | 77,487 | 80,746 |

(単位：百万円)

| 科 目 | 前連結会計年度 | 当連結会計年度 |
|--------------------|---------------|---------------|
| | 平成23年3月31日 | 平成24年3月31日 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | 6,536 | 9,220 |
| 支払手形及び買掛金 | 1,763 | 2,421 |
| 未払金 | 1,226 | 1,458 |
| 未払法人税等 | 669 | 1,203 |
| 賞与引当金 | 668 | 683 |
| 役員賞与引当金 | 29 | 91 |
| 返品調整引当金 | 63 | 58 |
| 売上値引引当金 | 267 | 425 |
| ポイント引当金 | 10 | 12 |
| 繰延税金負債 | — | 251 |
| その他 | 1,836 | 2,612 |
| 固定負債 | 1,188 | 1,112 |
| 退職給付引当金 | 572 | 560 |
| 繰延税金負債 | 9 | 19 |
| その他 | 606 | 532 |
| 負債合計 | 7,725 | 10,332 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | 75,402 | 77,934 |
| 資本金 | 15,000 | 15,000 |
| 資本剰余金 | 24,640 | 24,640 |
| 利益剰余金 | 38,129 | 40,662 |
| 自己株式 | △2,367 | △2,368 |
| その他の包括利益累計額 | △5,736 | △7,558 |
| その他有価証券評価差額金 | △1,873 | △3,877 |
| 土地再評価差額金 | △3,101 | △3,100 |
| 為替換算調整勘定 | △760 | △580 |
| 新株予約権 | 95 | 38 |
| 純資産合計 | 69,761 | 70,414 |
| 負債純資産合計 | 77,487 | 80,746 |

● 連結損益計算書

(単位：百万円)

| 科 目 | 前連結会計年度 | 当連結会計年度 |
|-----------------------|---------------------------|---------------------------|
| | 自平成22年4月1日 至平成23年3月31日 | 自平成23年4月1日 至平成24年3月31日 |
| 売上高 | 32,081 | 35,525 |
| 売上原価 | 20,522 | 22,036 |
| 売上総利益 | 11,558 | 13,489 |
| 販売費及び一般管理費 | 8,253 | 7,730 |
| 営業利益 | 3,305 | 5,758 |
| 営業外収益 | 3,452 | 3,052 |
| 受取利息 | 1,913 | 1,870 |
| 受取配当金 | 340 | 528 |
| 投資有価証券売却益 | 599 | 305 |
| その他 | 599 | 348 |
| 営業外費用 | 1,969 | 1,338 |
| 有価証券評価損 | 141 | 610 |
| 有価証券償還損 | 1,281 | 538 |
| 為替差損 | 304 | 125 |
| その他 | 241 | 64 |
| 経常利益 | 4,788 | 7,472 |
| 特別利益 | — | 74 |
| 新株予約権戻入益 | — | 74 |
| 特別損失 | 272 | 66 |
| 在外子会社清算に伴う為替換算調整勘定取崩額 | 137 | — |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 135 | — |
| 買取請求に伴う法定利息 | — | 66 |
| 税金等調整前当期純利益 | 4,515 | 7,479 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 683 | 1,901 |
| 法人税等還付税額 | △3 | — |
| 法人税等調整額 | 1,093 | 937 |
| 少数株主損益調整前当期純利益 | 2,742 | 4,640 |
| 少数株主利益 | 0 | — |
| 当期純利益 | 2,741 | 4,640 |

● 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

| 科 目 | 前連結会計年度 | 当連結会計年度 |
|----------------|---------------------------|---------------------------|
| | 自平成22年4月1日 至平成23年3月31日 | 自平成23年4月1日 至平成24年3月31日 |
| 少数株主損益調整前当期純利益 | 2,742 | 4,640 |
| その他包括利益 | △1,150 | △1,822 |
| その他有価証券評価差額金 | △929 | △2,003 |
| 土地再評価差額金 | — | 1 |
| 為替換算調整勘定 | △221 | 179 |
| 包括利益 | 1,591 | 2,818 |
| 親会社株主に係る包括利益 | 1,591 | 2,818 |
| 少数株主に係る包括利益 | 0 | — |

● 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

| 科 目 | 前連結会計年度 | 当連結会計年度 |
|-------------------------------------|---------------------------|---------------------------|
| | 自平成22年4月1日 至平成23年3月31日 | 自平成23年4月1日 至平成24年3月31日 |
| 営業活動による キャッシュ・フロー | 5,077 | 7,115 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | △2,074 | △8,970 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | △1,085 | △2,392 |
| 現金及び現金同等物に 係る換算差額 | △300 | △3 |
| 現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少) | 1,616 | △4,251 |
| 現金及び現金同等物の 期首残高 | 9,145 | 10,779 |
| 連結の範囲の変更に伴う現金及び 現金同等物の増減額 (△は減少) | 17 | — |
| 現金及び現金同等物の 期末残高 | 10,779 | 6,528 |

● 連結株主資本等変動計算書 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日現在)

(単位:百万円)

| 科 目 | 株 主 資 本 | | | | |
|---------------------------|---------|--------|--------|---------|--------|
| | 資 本 金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自 己 株 式 | 株主資本合計 |
| 平成23年4月1日期首残高 | 15,000 | 24,640 | 38,129 | △2,367 | 75,402 |
| 連結会計年度中の変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △1,734 | | △1,734 |
| 当期純利益 | | | 4,640 | | 4,640 |
| 自己株式の取得 | | | | △1 | △1 |
| 自己株式の処分 | | △0 | | 0 | 0 |
| 仮払いによる自己株式処分差損益の調整 | | △494 | | | △494 |
| 税率変更による繰延税金負債の取り崩し | | 120 | | | 120 |
| 利益剰余金から資本剰余金への振替 | | 373 | △373 | | — |
| 株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額) | | | | | — |
| 連結会計年度中の変動額合計 | — | — | 2,532 | △1 | 2,531 |
| 平成24年3月31日期末残高 | 15,000 | 24,640 | 40,662 | △2,368 | 77,934 |

| 科 目 | その他の包括利益累計額 | | | | 新株予約権 | 純資産合計 |
|---------------------------|------------------|--------------|--------------|-------------------|-------|--------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 土地再評価 差額金 | 為替換算 調整勘定 | その他の包括 利益累計額合計 | | |
| 平成23年4月1日期首残高 | △1,873 | △3,101 | △760 | △5,736 | 95 | 69,761 |
| 連結会計年度中の変動額 | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | △1,734 |
| 当期純利益 | | | | | | 4,640 |
| 自己株式の取得 | | | | | △1 | △1 |
| 自己株式の処分 | | | | | 0 | 0 |
| 仮払いによる自己株式処分差損益の調整 | | | | | | △494 |
| 税率変更による繰延税金負債の取り崩し | | | | | | 120 |
| 利益剰余金から資本剰余金への振替 | | | | | | — |
| 株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額) | △2,003 | 1 | 179 | △1,822 | △56 | △1,879 |
| 連結会計年度中の変動額合計 | △2,003 | 1 | 179 | △1,822 | △56 | 652 |
| 平成24年3月31日期末残高 | △3,877 | △3,100 | △580 | △7,558 | 38 | 70,414 |

(平成24年3月31日現在)

● 会社概要

商 号 コーエーテックホールディングス株式会社
(英文名称 TECMO KOEI HOLDINGS CO., LTD.)

資 本 金 150億円

本店所在地 神奈川県横浜市港北区箕輪町一丁目18番12号

設立年月日 平成21年4月1日

従業員数 単独 71名(※1) 連結 1,386名(※2)

※1 従業員数は就業人数(社外への出向者を除き、当社への出向者を含む)です。
※2 従業員数は就業人数(当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者を含む)です。

役員 (平成24年6月26日現在)

| | | | |
|---------|-------|-----------|-------|
| 取締役名誉会長 | 襟川 恵子 | 常 勤 監 査 役 | 長田 延孝 |
| 代表取締役会長 | 柿原 康晴 | 常 勤 監 査 役 | 森島 悟 |
| 代表取締役社長 | 襟川 陽一 | 監査役(社外) | 山本 千臣 |
| 取 締 役 | 阪口 一芳 | 監査役(社外) | 大内 卓 |
| 取 締 役 | 小林伸太郎 | 専務執行役員CFO | 浅野健二郎 |
| 取 締 役 | 鯉沼 久史 | 執行役員 | 原 毅 |
| | | 執行役員 | 保坂 正敏 |

グループ会社

■ 国内グループ会社

株式会社コーエーテックモゲームス
株式会社コーエーテックモウェブ
株式会社コーエーテックモネット
CWS Brains株式会社
株式会社ガスト
株式会社コーエーテックモキャピタル
株式会社コーエーテックモリブ
株式会社コーエーテックモミュージック
株式会社コーエーテックモアド

■ 海外グループ会社

TECMO KOEI AMERICA Corporation(アメリカ・カリフォルニア州)
TECMO KOEI CANADA Inc.(カナダ・トロント)
TECMO KOEI EUROPE LIMITED(イギリス・ハートフォードシャー州)
TECMO KOEI SINGAPORE Pte.Ltd.(シンガポール)
台湾光栄特庫摩股份有限公司(台湾・台北)
天津光栄特庫摩軟件有限公司(中国・天津)
北京光栄特庫摩軟件有限公司(中国・北京)
TECMO KOEI SOFTWARE VIETNAM CO., LTD.(ベトナム・ハノイ)

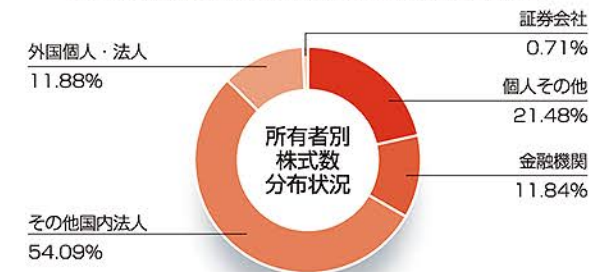
● 株式の状況

発行可能株式総数・・・・・・・・・・・・・・・・ 350,000,000株
発行済株式総数・・・・・・・・・・・・・・・・ 89,769,479株
株 主 数・・・・・・・・・・・・・・・・ 20,243名

大 株 主 (上位10名)

株式会社光優
(持株数 29,171 / 持株比率 32.50%)
環境科学株式会社
(持株数 6,502 / 持株比率 7.24%)
EUROPEAN KOYU CORPORATION B.V.
(持株数 5,730 / 持株比率 6.38%)
株式会社リズムスター
(持株数 3,383 / 持株比率 3.77%)
株式会社シーインザサン
(持株数 3,383 / 持株比率 3.77%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)
(持株数 3,318 / 持株比率 3.70%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)
(持株数 3,072 / 持株比率 3.42%)
株式会社コーエーテックモゲームス
(持株数 3,044 / 持株比率 3.39%)
襟川 陽一
(持株数 1,864 / 持株比率 2.08%)
襟川 恵子
(持株数 1,806 / 持株比率 2.01%)

(注) 1. 持株数の単位は千株です。
2. 持株比率は自己株式(9,473株)を控除して計算しております。
3. 当社連結子会社である株式会社コーエーテックモゲームスが当社株式を保有しておりますが、これは、平成21年4月1日を効力発生日とした株式会社コーエーおよびテックモ株式会社の共同株式移転に対して、テックモ株式会社が反対株主からの株式買取請求を受けた後、平成22年4月1日付で株式会社コーエーが存続会社として同社と合併、商号変更したことに伴い取得したものであります。



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月下旬
配当金受領株主確定日 期末配当金：3月31日
取締役会決議により中間配当を実施する場合は
中間配当金：9月30日

証券コード 3635 (東証一部)
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話：0120-782-031 (フリーダイヤル)

同連絡先
同取次窓口 三井住友信託銀行株式会社 全国本支店
(コンサルティングオフィス・コンサルプラザ・i-Stationを除く)

公告の方法 電子公告により行います。
ただし、(電子公告によることができない)
事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、
日本経済新聞に掲載して行います。

単元株式数 100株

■株主優待のご案内

当社は、株主の皆様からの日ごろのご支援に感謝の意を表するとともに、当社グループの事業へのご理解を深めていただき、より多くの株主様に当社株式を中長期的に保有していただくことを目的とし、株主優待制度を実施しております。

対象株主様：毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載された当社株式1単元(100株)以上保有されている株主様
ご優待内容：当社選定の商品を優待価格(35%割引)にてご提供

| 保有株式数 | 割引適用個数 |
|------------------|--------|
| 100株以上1,000株未満 | 3個まで |
| 1,000株以上5,000株未満 | 5個まで |
| 5,000株以上 | 10個まで |

ご優待期間：毎年6月開催予定の当社定時株主総会翌日から7月末日までお申込みを受け付け
実施回数：毎年3月31日を基準日として年1回実施

コーエーテックモホールディングス株式会社

神奈川県横浜市港北区箕輪町一丁目18番12号
<http://www.koeitecmo.co.jp/>